

京都府高等学校体育連盟主催事業における 新型コロナウイルス感染予防対策【専門部ルール】

専門部名： バレーボール 専門部

策定日： 令和 3 年 4 月 26 日

1、大会開催の専門部独自条件について

- ・ 京都府教育委員会、京都府高体連事務局からの通達により、バレーボール専門部常任委員で協議し開催を決定する。

2、大会参加条件について

- ・ 次の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること
 - ア 体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる場合
 - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
 - エ 保護者の参加同意書を得られない場合
- ・ 大会2週間前から、健康チェックに必要事項を記入し、当日に提出すること

3、大会当日の検温における発熱者確認時の対応

- ・ 当日、発熱があった場合、会場に行かず自宅待機させる。

4、大会申込後に出場を辞退する学校（チーム）がでた場合の対応

- ・ 抽選会前に辞退が決定した場合は、参加取りやめとする。
- ・ 抽選会後に辞退が決定した場合は、辞退扱いとする。

5、学校（チーム）応援者・観客について

- ・ 各学校が会場となる場合は、保護者の応援は認めない
- ・ サブメンバーの応援については、応援場所を分け密にならないようにする。また、マスク着用を義務づけ、大きな声での会話や声援をしないこと、拍手のみの応援とする。

6、専門部独自の感染症対策について

- ・ 会場において
 - 試合用コート1日1面あたり4チームを超えない範囲での参加に限る
 - 飲食の機会がある場合、飲食場所は1チームに1つの場所を割り当てることが望ましい。
- ・ 競技において
 - 各学校が会場となる場合は、試合コートには、当該チームと審判・補助役員のみとする。
 - 試合球はできるだけ複数個用意し、こまめに消毒・清掃を行って交換しながら使用する。
 - 審判の笛については、できるだけ電子ホイッスルを使用する。
 - 試合前などの円陣やベンチでの集合時においても、できるだけ密集・接触を避ける。
 - コイントス時、キャプテンと審判間のあいさつや試合前後の握手は、一礼などでこれに代える。
 - タオル・水ボトル・アイシングバッグなどの共用はしない。
- ・ 式典等運営については、できるだけ簡略化する。
- ・ 感染拡大防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと。また、体育館や会場校が示す感染防止対策や注意事項を順守すること。

※詳細は、専門部ホームページに「新型コロナウイルス感染防止対策に伴う大会開催ガイドライン」を掲載しています。